

各戦略の取組ポイントに関連する事業等の動向について

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンでは、基本方針の中で今後5年間における取組のポイントをまとめている。当該ポイントに関連する事業等の動向をまとめたもの。

戦略1 産業の営みをつなぐ(圏域全体の経済成長のけん引)

- ・盛岡南公園周辺への新産業等用地の整備による産業・物流拠点の強化(令和4年度～)
- ・盛岡広域に集積するIT関連企業の知見の共有や、企業及び研究機関との連携を促進するためのAI・IoTプラットフォーム「マルチモノ盛岡」の設置及び実証実験への支援(令和3年度～)
- ・岩手県と盛岡市の共同で建設を進める盛岡南公園野球場の整備(令和5年度供用開始)
- ・盛岡城を中心としたまちづくりを推進する復元整備資料調査事業(令和4年度～)

取組のポイント(P.40)

- ・盛岡広域経済戦略に基づく、戦略産業の育成や地域資源を活用した地域経済の裾野拡大、戦略的な観光施策の推進
- ・新型コロナウイルスの影響により減少した交流人口の増加のため、東北ディステーションキャンペーンや全国植樹祭などの機会を活用した施策の展開
- ・農業の担い手や生産量の減少に対応するため、農畜産物におけるブランド化やプロモーションなどの圏域単位での取組の推進
- ・生産性向上の為にICT技術の活用
- ・豊富な自然を活用した再生可能エネルギーの普及

戦略2 人の流れをつなぐ(高次の都市機能の集積・強化)

- ・JR前潟駅の開業(令和5年3月)
- ・盛岡中心市街地の再開発事業(令和4年度～)

取組のポイント(P.41)

- ・人やモノの流れをより活発にするため、各市町の拠点をつなぐ交通インフラの整備と公共交通の充実
- ・交通系ICカードの導入等の利便性向上
- ・中心市街地の流動人口の増加を図るため、新たな都市機能の集積・強化
- ・立地適正化計画等に基づく「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの着実な推進

戦略3 暮らしの安心をつなぐ(圏域全体の生活関連機能サービスの向上)

- ・ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンの開校(令和4年8月開校)

取組のポイント(P.42)

- ・ICT技術の活用やSDGsの取組の推進による圏域全体の生活関連機能サービスの向上
- ・一人暮らしの見守りや高齢者世帯の買い物支援等の生活支援の充実
- ・就業機会の確保や社会参加の促進など若者支援
- ・子育て世帯への支援
- ・地域の担い手の確保や地域活性化を図るため、移住定住の促進や関係人口の取組の強化
- ・ICT技術等の専門人材の活用による行政サービスの高度化への対応
- ・長寿命化に対応する健康施策の展開、地域医療の確保
- ・災害発生時の相互支援等の連携推進